



2018年度東北地区 床ずれセミナー



日時

2018年7月8日(日)
9:55 ~ 16:05 (受付 9:00 開始)

会場

山形ビッグウイング
(〒990-0076 山形市平久保 100 番地)

対象者

医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、介護支援専門員、介護福祉士、ヘルパー、福祉用具専門相談員、一般、学生、他

定員

300名

参加費

会員	1,000円
非会員	3,000円
学生	1,000円

※本セミナーは日本褥瘡学会認定講習会(申請中)です。

全国テーマ
『だって、褥瘡があるから...』

いまだ経験のない高齢化社会、医療スタイルの変化

我が国は今後、いまだ経験のない高齢化社会を迎えます。それとともに、国は在宅医療をはじめ、遠隔医療の導入など新たな模索が始まっています。国民が医療を享受するスタイルは確実に変化し、医療費抑制政策もあいつつ混沌とした時代となりそうです。私は皮膚科医であり、褥瘡をはじめ様々な皮膚疾患は直接患者さんを拝見しないと正しい診断と治療はできないと考える向きですが、さりとて異論ばかりを唱えていると情報通信技術の急速な発達により、近くの在宅の患者さんを遠く離れた異国の医療従事者がフォローするという笑話のような現実が訪れるかもしれません。

在宅現場での愛護的な診療と 情報通信技術の応用が重要。

やはり、医療の基本は対面診療であり、ヒトとヒトのふれあいを基盤にしたものでなくてはなりません。他からの批判に耐えうる知識と技量をもった医療従事者が、在宅現場で愛護的な診療そしてケアをしてこそ、世界的にもハイレベルな在宅医療が展開できるとともに、お互いの分野の褥瘡学ともいえる基礎知識を共有し、上手に情報通信技術を応用することが重要になるでしょう

「この患者さんは遠隔モニターで十分でしょっつ。」
「バイタルをみて、家族にLINEで指示すればいいじゃない。」
「でも、見に行ってください。」
「だって、褥瘡があるから...」

2018年度全国会長 安部 正敏



2018 年度東北地区床ずれセミナー プログラム(予定)

- 9:00— 9:55 受付開始／企業展示
- 9:55—10:00 開会の辞
地区会長 片岡ひとみ(山形大学医学部看護学科 教授)
- 10:00—10:15 全国会長講演『だって、褥瘡があるから……』
演者:安部 正敏(医療法人社団廣仁会 札幌皮膚科クリニック)
- 10:20—11:30 講演Ⅰ『在宅・介護施設における褥瘡対策実践ガイド～床ずれケアナビを活用しよう～』
演者:塚田 邦夫(高岡駅南クリニック 院長)
- 11:30—12:50 休憩・企業展示
- 12:50—14:20 講演Ⅱ『成果の出る床ずれ予防～不良姿勢や抱え上げ介助から快適なケアへ～』
演者:下元 佳子(一般社団法人 ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事)
- 14:20—14:50 休憩・企業展示
- 14:50—16:00 講演Ⅲ『在宅高齢者の栄養ケア～栄養ケアの重要性・管理栄養士としてどう取り組む』
演者:田村佳奈美(福島学院大学短期大学部食物栄養学科 講師)
- 16:00—16:05 閉会の辞

※講演Ⅰ 参考テキスト「**床ずれケアナビ 全面改訂版**」をお持ちの方はご持参ください。

※「**床ずれケアナビ 全面改訂版**」は当日販売いたします。



【アクセス】 住所: 山形県山形市平久保100

車: 山形自動車道 山形北インターから5分 JR山形駅から15分

電車: JR奥羽本線/仙山線「羽前千歳」駅下車 徒歩15分

バス: JR山形駅から20分 山交バス 県立中央病院行「ビッグウイング前」下車

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル9階

株式会社春恒社 学会事業部内 TEL:03-5291-6231 FAX:03-5291-2176

※プログラムは予告なく変更されることがございますので、適宜協会 HP でご確認いただくことをお勧めいたします。

※協会 HP <http://www.zaitaku-jokusou.info/>

